

4月臨時会開催

刈谷市税条例等の一部改正についてを可決

4月臨時会は4月12日に招集され、会期を1日間とし同日閉会しました。

議案について、反対意見がありませんでしたが、採決の結果、原案のとおり可決しました。

条例議案

■刈谷市税条例等の一部改正について

問 固定資産税の負担調整措置について、令和4年度は、商業地等には適用されるが、住宅地には適用されないとのことである。令和3年度は商業地等だけでなく、住宅地にも適用されていたのになぜか。商業地等には、令和4年度分の固定資産税の課税標準額を、前年度分の課税標準額に令和4年度の評価額の2.5%の額を加算した額とする。商業事業者等が新型コロナウイルス感染症の影響で大変なのは理解しているが、住宅地が除外され、特定の人たちだけが減税になるのは税金の公平性という観点から間違っている。令和2年度までの地価の上昇を受け、新型コロナウイルス感染症拡大後の地価の下落を考慮しても、固定資産税が上昇する地点が多いことから、経済対策による各種支援策の効果を損なうことがないよう、事業者の経済活動と経済回復を後押しするため、経済活動の基盤となる土地に係る税負担増を緩和する措置が講じられたと聞いている。

いると考えるがどうか。

答 各自治体では、財源が厳しい中で、新型コロナウイルス感染症防止対策や地域経済の立て直しのため、各種事業に懸命に取り組んでいるところである。負担調整措置は、評価額が急激に上昇した場合でも税額の上昇が緩やかになることを目的とした税負担の調整措置であり、今回の措置は新型コロナウイルス感染症により社会経済活動などが大きく変化したことを踏まえ、コロナ禍からの経済回復のために税負担の激変緩和の観点からの措置であると認識をしている。

議決結果一覧表

(※)：賛否が分かれたもの

- ・刈谷市税条例等の一部改正について (※) 可決
- ・刈谷市都市計画税条例の一部改正について (※) 可決

4月臨時会における新型コロナウイルス感染症への主な対策

- 傍聴者の間隔を空ける
- 議員、理事者はマスクを着用

- 議場等の各席に間仕切り設置

4月臨時会提出議案の賛否 (○：賛成 ×：反対)

議案名及び議決結果	可決	自民クラブ					市民クラブ					公明クラブ		清風クラブ		所属議員の無議		日本共産党		いのちの会		無所属		議長		副議長			
		加藤 幹樹	揚張 慎一	葛原 祐季	近藤 澄男	渡邊 妙美	清水 俊安	外山 敏一	山崎 高晴	深谷 英貴	中嶋 祥元	佐原 充恭	伊藤 幸弘	黒川 智明	鈴木 浩二	谷口 睦生	松永 寿	白土美恵子	上田 昌哉	星海 真規	星野 雅春	鈴木 絹男	蜂須賀信明	牛田 清博	山本シモ子	城内 志津	稲垣 雅弘	加藤 廣行	鈴木 正人
刈谷市税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市都市計画税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長のため、採決には加わらない

議会トピックス

■タブレット端末及びペーパーレス会議システムを導入しました!

刈谷市議会では、平成30年に議会ICT化研究会を設置し、ペーパーレス化、議会の情報共有化、議員の資質向上、事務の効率化を図ることを目的として、タブレット端末を導入することを決定し、導入する機器や使用基準などについて協議を重ねてきました。

そして、令和4年6月議会から、タブレット端末で議会資料を閲覧できるようにし、本会議や委員会などで使用する運用を開始しました。

コスト削減や環境への配慮、情報伝達の迅速化など議会におけるICTの活用推進、デジタル化への対応は重要な課題であると認識しています。今後もタブレット端末を活用して議会資料のデジタル化を進めるとともに、災害情報をはじめ、様々な情報の効率的な収集・共有を図り、活発な議会活動につなげてまいりたいと考えています。



議会のICT化を推進します

6月定例会における新型コロナウイルス感染症への主な対策

- 傍聴者の間隔を空ける
- 議員、理事者はマスクを着用
- 議場等の各席に間仕切り設置
- 一般質問の際、密接を避けるため議場に入る議員の数を減らし、別室でモニター視聴を実施

公職選挙法で市議会議員は寄附や暑中見舞いなどを出すことが禁止されています。禁止されている寄附の主なものは左記のとおりです。



編集後記

刈谷市における新型コロナウイルス感染者数は、2月の約3,000人をピークに3月の約2,100人、4月の約1,400人、5月の約800人と感染は収まらず、まだまだ予断を許さない状況です。あわせて、気温の上昇も懸念される中、コロナ対策に加え、熱中症対策も行わなければなりません。感染者数を年代別で見ると、20代の方が多いため、積極的なワクチン接種に御協力をお願いします。また、ウィズコロナの中、市内におけるイベント数も徐々に増えています。イベントを楽しんでいただくとともに、人々が密集する場所ではソーシャルディスタンスの確保をよろしく願います。

◆6月定例会では19人の議員が登壇しました。物価上昇により市民の皆さんの暮らしの安定が懸念される中、各議員から市民生活を守るための質問が数多くありました。今後も刈谷市議会では刈谷市政へ「刈谷市民の声」をお届けします。

◆現在、刈谷市では未来へ向けてスマートシティの取組を推進しています。最新の技術を活用して、環境に優しく住みやすい、安心・安全で持続可能なまちを目指しています。

◆本号で、今期の議会広報委員会メンバーでの市議会だよりの編集は最後となりますが、次期の広報委員会でも「市民に開かれた議会」「市民に信頼される議会」を目指し、市議会の情報を、市議会だよりを通じて皆様へお届けいたします。

(議会広報委員会)